

# 「西郷隆盛と明治天皇、のこころ」

7月30日 逍遙



今日7月30日は、明治天皇崩御の日。明治天皇というと、西南戦争で自刃した西郷隆盛がどうしても頭に浮かびます。それは恐らく、両者に関係する史実と現存する史跡等が醸し出すストーリーのせいなのかもしれません。

まずは令和の年に復元された鶴丸城・御楼門。西南戦争の5年前、鹿児島に行幸された明治天皇が乗馬姿でこの御楼門から入城した際、参議・西郷が付き従っていたこと。また鹿児島市の西郷銅像は、西南戦争の4年前、明治天皇指揮による初の近衛兵大演習が千葉県習志野で行われた際、馬上で総覧される明治天皇に徒歩で付き添う陸軍元帥・西郷の軍服姿を模していること。

また西南戦争から僅か12年後、大日本帝国憲法発布に伴う大赦で、西郷の汚名払拭と正三位が追贈されたこと。さらにその9年後、東京・上野公園に西郷銅像が建立（その資金として明治天皇も下賜）されたこと、等々。

逍遙館長的には、島津斉彬急逝の際、殉死まで考えた西郷の斉彬に対する忠義が、西郷の明治天皇に対する忠節とどうしても重なってしまうのです。

次回「再雇用 それとも 祇園精舎、のこころ」